

高校22回の林 祐三です。 震災被害地いわきにいます。

3/11の震災時、いわきにいました。会社で地震にあいました。

震度6強で約5分と長く続きました。

自分のデスクが、一瞬で数10センチ吹っ飛びました。

新潟の中越地震を経験した社員が出張で10名来ておりましたが、

全員が「中越地震とは比較にならない・・・」と青ざめた顔で、一緒に避難をしました。

天井のエアコン、蛍光灯が落下、社員全員が机の下にもぐりました。

従来の地震と違い、横揺れが激しく、建物が猛烈に揺れました。

女性社員は、全員床にうずくまって悲鳴を上げておりました。

私は、携帯電話で画像を撮ろうとしたのですが、あまりの振動の凄さに机の下にもぐりました。なにもできないものですね。

幸い私の居住地区は高台で海から10kmくらいですので、津波の影響はありませんでしたが、市内の海沿いの地区では、10m弱の津波で、壊滅的な被害が出ました。

先週海沿いに車で走りましたが、TVにはいわきはあまり出ませんが、岩手とまったく同じで、地獄絵図です。

家の土台しかない地域が続いております。まだかなりの遺体が家の瓦礫に埋まっているとのことでした。

いわきでは、本日現在、約3000人が避難しており、約1000名がまだ行方不明です。

さらにもっともひどいのが、放射能の影響で、ガソリン、物資・食料、水が先週までほとんどない状態でした。いわき駅前にはゴーストタウン状態でした。先週からはかなり回復しました。

3日まえにやっと水道が復帰したところです。

あの第1原発から我が家は38kmで、屋内退避地域になっておりませんが、政府の指示はあいまいで、いわき市では40歳以下の人にはヨウ素が2週間前から配付されています。

政府・東電・保安院の発表など信頼できず、わが会社でも日々ガイガーカウンターでデータを取っております。

14、15日の水素爆発時前には、危険を感じ、車でいわきを脱出。高速道路が全部通行止めでしたので、国道4号で埼玉・東京に避難しました。

(車を長男の大学の駐車場におかしてもらい、家内の実家の岐阜まで行きました。)

webで見ますと、15日には、いわきも一気に放射能値があがり15 μ シーベルト近くになっていましたが、政府からはなにもデータ公表なしです。

今回の政府・東電・保安院の発表・対応を見るたび、いきどうりを感じます。

ここ福島原発は全部首都圏の電力用で、われわれにはまったく供給されておられません。現地に住む者としては、非常に腹が立つと同時に、複雑な気分です。

東大をはじめとする御用学者連中の、なんの役にも立たないコメント、現場で起きている状況をほとんど理解していないですね。

ちなみに、同じ町内には、東電の原発設備係りの人が少なくとも2人おられます。

連日防護服を着て作業にあたり、大変な（命を懸けた）状態のようです。

（詳細は話してくれませんが、とても安心できる状況ではないと感じます。）

これまでの政府・東電トップ・保安院の動きをみておきますと、この国はやはり危機管理については「脇が甘い」としかいいようがありません。

希望の見方でいつまでも結論を引きずり、なにもリスクに対し、対応をとらない・・・

第2次大戦時、貴重な人命を沢山犠牲にしたアホな参謀、大本営と同じ図式です。

取引先の外資系の会社では、80km以遠に全員避難しております。

TVでキャスター、コメンテーターが、安全な遠くから議論をしているのを見ると、なんだかむなしです。現地にきたらどうでしょうか・・・と言いたいです。

長くなりました。

林